

～ JA富山市米品質向上生産運動展開中 ～

コシヒカリの生育状況

(JA 富山市管内 6/12 調査結果)

	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢	葉色
H29年	32.8	359	8.0	4.2
昨年	35.8	422	8.9	4.3
平年	34.8	324	8.3	4.4

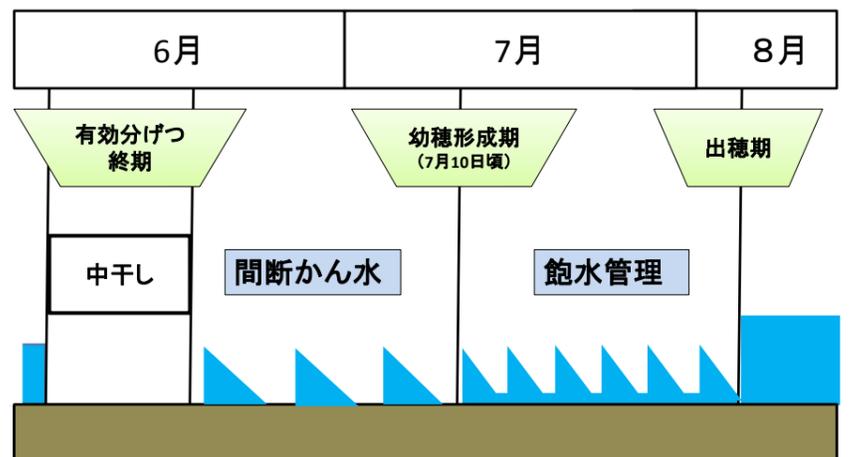
6月中旬現在のコシヒカリの生育は、平年に比べ草丈はやや短めで、茎数はやや多く、葉色はやや淡く推移しています。
生育状況を的確に確認し、遅れずに以下の管理作業を行いましょう。

中干し後の水管理

- ・中干し後から幼穂形成期までは「間断かん水」、幼穂形成期から出穂期までは「飽水管理」で根の発達を促しましょう。

※中干しが実施されていない場合は、速やかに中干しを実施してください。
干し過ぎると、逆に稲にダメージを与えるので、数回に分けて適度に田干しを行いましょう！

水管理のイメージ(コシヒカリ)



「てんたかく」分施田の穂肥

- ・幼穂長1～2mmを確認したら、施用する。

	1回目 (6/26-30頃)	2回目 (1回目の10日後)
追肥化成3号	10～12 kg/10a	12～13 kg/10a
LP 追肥38号	18～20 kg/10a	-

※基肥一発肥料のほ場でも、幼穂形成期前に葉色が4.0を下回る場合は、追肥化成3号で5kg/10a(チッソ成分で0.7kg/10a)程度の追肥を早急に行い、適正な葉色に誘導しましょう。



てんたかくの生育状況

(JA 富山市管内 6/13 調査結果)

	葉齢	幼穂形成期
H29年	9.0	(7/1)
昨年	9.7	6/27
平年	9.2	6/30

草刈りの徹底

- ・カメムシは、イネ科雑草の穂を特に好み、農道や畦畔、水田周辺の雑草地が発生源となります。
- ・斑点米の発生を防ぐには、農薬による防除の前に草刈りの実施でカメムシの餌場を無くし、生息密度を低くすることが重要です。



カメムシ類が好む主なイネ科雑草
(左: ナギナタガヤ 右: メヒシバ)

【斑点米と主な斑点米カメムシ類】



目安として、玄米 1000粒に2粒混じると2等米に格下げ!!

<主な斑点米カメムシ類>



アカヒゲ ホリミド リカシカメ



アカシジ カシカメ



トゲ シラホカメシ

草刈運動期間中に草刈りを行い、地域全体でカメムシの発生源を減らしましょう！！

草刈運動期間 7月1日～7月10日 一斉草刈日 7月1日(土)～2日(日)